



創造・感謝・勤労

飛 幡 中

2018年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

平成30年 6月11日 No. 6

発行責任者 校長 池 浩幸

学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL093-882-3652 FAX 882-3618

【 3年生、修学旅行大成功に！ 】

先週の6日（水）～8日（金）の2泊3日で、3年生の修学旅行が実施されました。修学旅行は、1年生のふれあい合宿に始まり、2年生の農泊等の校外行事を実施してきた後の総まとめの宿泊行事です。これまでの行事とは違って、更にレベルアップしてほしいとの願いから、事前の取組として修学旅行の目標をしおりの中に下記のように設定しました。

1. 「笑顔と責任」

君たちは飛幡中学校の代表として、また、北九州市の代表としてこの修学旅行に参加します。京都・奈良・大阪には全国各地から、そして海外からもたくさんの旅行者が訪れます。

「笑顔」、「マナー」で気持ち良くあいさつをし、何事にも責任ある行動と責任ある発言を心がけてください。

一昨年の熊本地震後、現在も世界中の人々が復興を応援しています。まだまだ時間はかかりますが、決して下を向くことなく、こんな時だからこそ「笑顔」でふるまえる人でありたいものです。訪問先ですれ違う人々に笑顔で「おもてなし」ができれば、それもまた胸を張っている「飛中魂」だと思います。

2. 「ルールと我慢」

修学旅行は集団行動です。家族や個人旅行とは違います。ルールを守らなければ、誰かが嫌な思いをしたり、全体に迷惑をかけてしまいます。実行委員の仲間が一生懸命に考えた「ルール」です。君たち自身の手で守り通してほしい。誰にでも「これくらいはいいかな」とかはあつてでしょう。が、一人一人が身勝手な行動をしたり、わがままを言い出したら集団での楽しい旅行ではなくなります。各自がルールを守り、少しの「我慢」を160名の力に変えてください。

以上を合言葉に、一人一人の協力と努力で最高の修学旅行となるように、また、これを機会に3年生がさらに成長することを期待しています。

3日間の旅行を振り返り、何よりも事故や怪我は勿論のこと、病人が一人も出ずに全員無事に帰ってきたことが、最高のお土産です。梅雨入りしていたため天気はいまひとつでしたが、大降りになることもなく、暑すぎることもなく、全行程をこなしました。また、あれだけの豪華なホテルや食事、人形浄瑠璃などは、飛幡中だからこそ取り入れることができた行程だと思います。さらには、JTBやホテルのスタッフの方々、バスガイドさんやその他たくさんの方々のご配慮があったことも忘れないでください。それら全てのこと感謝の気持ちをもって、この修学旅行を締めくくりたいと思います。お疲れ様でした。

【 そして、来週は期末考査です！ 】

早くも来週20日（水）～22日（金）は期末考査です。一学期の総まとめのテストです。各学年とも大きな行事を立派にやり遂げた後です。行事にも頑張る、学習にも頑張る、そんな飛中生でありたいものです。期末考査は中間考査とは違って9教科の試験です。早め早めに計画を立て、その取組みをスタートさせてください。【20（水）：技家・数・美、21（木）：国・音・社、22（金）：保体・理・英】

場

先ほどまで竹刀の音が響いていた道場で、剣士たちが正座し黙想、そして静かに道場に一礼する。ユニホームを泥だらけにした野球少年らが一列になり、大声とともにグラウンドに向かってお辞儀をして練習を終える。

多くのスポーツ選手が示す、場に対するゆかしいふるまいは、観ている者にも一服の清涼剤である。その清々しさはどこから来るかといえば、自分たちが鍛えられるところ、成果を出すところという場の意義をよく理解し、感謝と敬意を忘れないからではあるまいか。

これは日本人の礼のしつけの一端に依るものであり、海外のスタジアムで、日本人観光客が観戦後に座席を掃除して称賛されるのも、同じ意識の発露なのであろう。

人間同士の礼にとどまらず、こうしたいわば場への礼の精神が浸透すれば、社会はより豊かになるに違いない。

多くの外国人が来日し、海外との交流はますます深まろうとしている。グローバルな時代に、日本人の一人として場に対する美意識を世界にも広めたい。そして自分にとっての場をどのように大切にするか、時に思いを巡らしたい。

(PHPより)